



塗膜と塗料中のPFAS測定 ～塗膜の奥に潜むPFASをスキャン！～

固体から液体まで、どのような状態の試料でも安定した結果をご提供いたします。

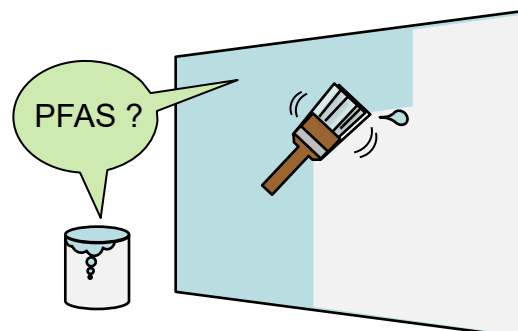
塗膜・塗料とPFASの関係

鉄塔や橋梁などの鋼構造物は、長期間使用が求められるため、これまでに様々な物質を配合した塗料が使用されてきました。

一方で、一部の塗料からは、PFOAなどの「PFAS」と総称される化学物質が検出されたとの報告もあります。

PFASは環境中で分解されにくく、蓄積しやすい性質を有するため、世界的に使用や排出を抑制する動きが進んでいます。

そのため、鉄塔や橋梁などの鋼構造物の塗膜・塗料にPFASが含まれているかを把握することが、これまで以上に重要になると考えられます。



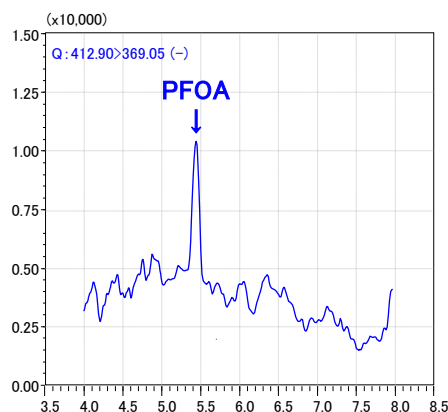
当社の特徴

現地サンプリングから分析まで、ワンストップでご対応いたします。

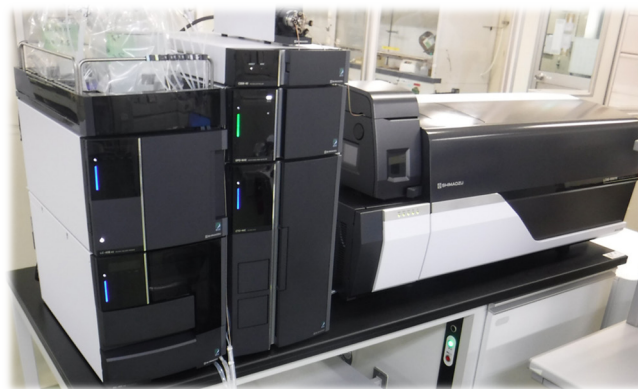
- 全国どこでもサンプリングいたします。
- 一般的な分析条件では対応が難しい試料でも、試料特性を踏まえた測定法をご提案いたします。
- 定量下限: 10ng/g
- 測定成分例: PFOA、PFOS、PFHxS
(EPA1633記載の40成分も対応可能です。)
- PFAS以外の有機成分の分析も承ります。
- PCB、鉛、クロム、コールタール等も承ります。



塗膜の現地サンプリング



塗膜試料中で実際に検出されたPFOAのクロマトグラム



トリプル四重極質量分析計(LC-MS/MS)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2026 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

